



論点整理

第七章 その他諮問で提起された事項の在り方 ⑥

特別支援教育（特別支援学級、特別支援学校 ②）

特別支援学級の質の確保

- ◆ 特別支援学級において特別の教育課程を編成しているにもかかわらず、自立活動の時間を設けていない学校が一部に見られるところであり、各学校において自立活動を確実に実施するような方策も必要である。

特別支援学校学習指導要領における自立活動

- ◆ 特別支援学校学習指導要領を参照する特別支援学級や通級による指導の担当教師にとっては自立活動の内容が難解であるとの指摘もあり、小・中・高の教師に自立活動の内容をこれまで以上に理解してもらう観点からの方策が必要である。



交流及び共同学習

- ◆ 「インクルーシブな学校運営モデル事業」における、発展的な交流及び共同学習を実現するための教育課程の編成等について実践研究の成果を踏まえつつ、交流及び共同学習を発展させるための方策が必要である。

信じた道を進み続ける

学んで時に之を習う、亦またよろこ説ことばしからずや。

朋とも有あり、遠方より来る、亦またたの楽しからずや。

人ひと知らずして 慍いきどおらず、亦またくんし君子ならずや。

（訳）学んだことはいつも復習する。そして理解できたときには、なんとうれしいことではないか。同じ志をもつ友人が遠方からやってきて語り合える。なんと楽しいことではないか。誰も自分の実力を理解してくれなくても、不平不満に思わない。それこそ立派な君子ではないか。

出典：「壁を乗り越える論語塾」安岡定子著（PHP研究所）